



コミセンレポ — コミセン、和自5校区などの注目情報です —

第6回コミセンまつり／わじろ映画館

「第6回コミセンまつり」が開催されました。

和自5校区のみんなで企画・運営し開催する『コミセンまつり』。第6回目となる今回のテーマは「チャレンジ～5校区の明日へ～」。2月11日祝日、和自中学校吹奏楽部、元気鼓(げんきっこ)の軽快な演奏を皮切りにまつり開幕。総勢28団体の華麗なステージ発表、テーマに沿った「チャレンジブース」、2年目となる中学生たちの



▲ ユース実行委員のコミクラブース



▲ 子どもたちに大人気のNゲージ



▲ ロープジャンプ大会でチーム力UP



▲ ひょっとこ踊りで会場が賑わう

あなたの青春がよみがえる作品を上映

多目的ホールで開催される、地域で気軽に楽しめる『わじろ映画館』。次回はもうすぐ、3/20(水)です。本年度最後を飾るのは、80年代アメリカを代表する映画「トップガン」(86年)です。その年の全米興行成績1位を記録した大ヒット作品。公開当時、トム・クルーズが着用していたMA-1やサングラスが流行するなどファッションに影響を与えたり、10年前のブルーレイ版発売時に、続編が出るのではと言われるほど、話題に事欠かない作品でもあります。

今回も地域のみなさんと一緒に、映画を楽しみましょう！

『トップガン』1986年公開 米国映画

日程:3月20日(水) 時間:19:30～ 料金:お一人様 500円

監督:トニー・スコット

出演:トム・クルーズ、ケリー・マクギリス 他



▲ トップガンの画像と会場の様子。

©1986 BY PARAMOUNT PICTURES CORPORATION. ALL RIGHTS RESERVED.TM.(r) & Copyright ©2009 by Paramount Pictures. All Rights Reserved.



※開場は、上映開始時間の30分前からです。入場には「前売券」が必要です。残席が出た場合のみ、当日入場を案内します。

● 休館日について

3月以降の休館日は、3月25日(月)、5月7日(火)、5月27日(月)です。

※4月の休館日の日程が通常と違ってしますので、ご注意ください。

● トイレの改修工事について

2階と4階が3月6日(水)まで。5階が3月11日(月)～3月20日(水)まで。

ご迷惑をおかけいたしますがご理解の程、よろしくお願いいたします。



公式HP



facebook

〒811-0213 福岡県福岡市東区和自丘1丁目22-27

☎092-608-8480 FAX:092-608-8485

【開館時間】午前9時から午後9時まで(多目的ホールは午後10時まで)

【休館日】毎月最終月曜日(祝日のときは翌日)、及び年末年始(12/28～1/3)

より詳しい情報は、コミセンわじろ公式ホームページをご覧ください。

公式HP <https://wajiro.info>

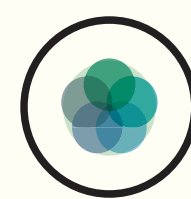
facebookでも、コミセンわじろの日常を発信中！

facebook www.facebook.com/komisenwajiro



福岡市和自地域の魅力、活動サークルの紹介など
みなさんの活動に役立つ情報を発信します

地域とあなたが、もっとつながる



[ワジコ]
wajico vol. 24
2019 Spring

pick
up

わじろじまん 奈多公民館の「階段アート」

わじろ元気印 よさこいを全力で。「舞斬(ぶざん)」



地域  文化

わじろじまん

— 地域にある、次に伝えたい「誇り」をご紹介 —

奈多公民館の「階段アート」 季節を楽しむ新しい話題づくり



▲ 階段アート。「くじら学校」「早魚神事」「こいのぼり」など地域や行事をモチーフにしたもの、「鳥獣戯画」や北斎の浮世絵など美術作品をモチーフにしたもの、旅行で見た有名な風景をモチーフにした「迷いの窓」など。作品は6年で70を超える。

奈多公民館にお邪魔すると、玄関からすぐに伸びている2階への階段の縦面に、綺麗な装飾が月替わりで施されています。引いてみると絵画のようであったり、またあるときはぬり絵や細かい細工があったり。この飾りを、地域のみなさんは親しみを込めて「階段アート」と呼び、更新を楽しみにしています。今回はこのアートの取り組み、自慢を紹介します。

地域の話、交流をつくるアート

階段アートは、奈多公民館のスタッフがテーマやアイデアを考え、毎回制作しています。発端は6年前。公民館の建物の構造上、利用者がすぐに1階や2階のホールや会議室など活動する部屋にいきなり行ってしまう、ロビーのような滞留する場所がないことから、何か職員と立ち止まって話をする、話題になることができないかということから、階段に装飾をする試みが始まったそうです。

季節感や文化を感じさせる作品群

平成25年5月に登場した最初の階段アートは、利用者のみなさんがぬり絵に書いた“てるてる坊主”を飾ったものでした。その後、奈多は松林に代表されるように紅

葉する樹木が無く、より年間の四季を感じさせるもの、また神事など行事が多いことから、「自然」「歴史」、そして「絵画」を主なテーマとした階段アートが、毎月つくられ更新されることになりました。

階段アートをつくる上でのエピソードを、制作に関わる奈多公民館の餅越主事にお話を聞きました。階段は奥行き、段差があります。例えば一枚の絵を飾ったときに、実際は分割されている絵がどう見えるか。例えばあえて1枚に見せたい場合には、後ろ(上の段)にある絵を前(下の段)と比べて大きめに描くなど、さまざまな工夫がなされています。「視死角というのも計算しないとうまくいかないんです。でも何日もかけられないので1日でつくっちゃいます(餅越)。」

現在は公民館を訪れる地域のみなさん楽しみになっているだけでなく、一度飾られたアートが他の公民館や施設でも飾られることもあるなど、作品の輪は広がっています。

観に来ることは、私たちの喜びです

今回は奈多にお住いの草場京子さん、住民代表として階段アートの良さを自慢していただきました。草場さんはサークルや地域の活動を精力的に行い、

公民館によく通っているとのこと。「毎月楽しみにしています。新しいのが飾られたら、写真に撮って故郷(長野)の親戚にも送るんです。私の住んでいるまちの公民館にはアートがあるのよ。素敵でしょう? ってね。」奈多に来て40年だそうですが、このまちの人のあたたかさを自慢できるんです、と草場さんは語ります。「公民館を訪れる人のために、時間を割いてつくって、ここまでしてくれる。気持ちが伝わりますし、その心配りがとても嬉しい。宝物です。これからも新しい作品を観れることを、楽しみにしています。」



▲ 奈多公民館

この方たちに聞きました！



(左) 草場 京子さん
(右) 餅越 貴美子さん

奈多公民館

地域  団体

わじろ元気印

— この地域で「力いっぱい」活動する団体の情報 —

舞斬(ぶざん) よさこいを全力で。

「よさこい」を舞うサークルとして、三苦地域を拠点に活動する「舞斬(ぶざん)」さん。先月開催の「コミセンまつり」でも気合の入った舞いを披露するなど、精力的に活動しています。団体のはじまりやこれからについて、チーム代表の福岡さんに取材しました。

Q 活動を始めた経緯を教えてください。

私自身は、小学1年ぐらいの頃に久山で「よさこい」を初めて観て、『これだ!』と思って当時、粕屋のチームに入って活

動していたんです。その後結婚したり引っ越したりして一度は離れたんですが、また踊りたい、あの良さを子どもたちにも伝えたいと思った。でも住んでいた三苦にはよさこいのチームはなかったので、5年前の春に自分や昔の仲間たちにも声をかけて始めたのが最初です。

Q 現在の活動についてお話しください。

三苦公民館さんには、本当に自由にさせていただいて感謝しています。指導も厳しくやっています。いわゆる“習い事”



▲ 活動風景。4歳から大人まで20名で活動。遠方から駆け付ける先輩メンバーも在籍

のレベルを超えている熱い指導です。子どもたちの余ったエネルギーを、よさこいを踊る情熱に向ける。「一生懸命しよう、何か変わるよ」と声かけながら。活動を続けていると、その想いに賛同する親御さんが子どもを連れて来るんです。ダンスを介して、踊りだけでなく挨拶や交流も学ぶ。憧れのよさこいの曲を踊る日を迎えるため、練習しています。

Q 今後の活動などうかがえますか。

厳しい練習を超えて本番に臨むので、親の立場だと感動して泣いちゃうんですよ。自分の住む場所によさこいのチームがあるのは本当にラッキー、運が良いんです。やらないと損です。良いダンスをして感動して終わって…騒ぐ。忘年会まで公民館の世話になっていますが、楽しいですよ。少しでも興味がある方は、練習の見学でも、本番でもいらしてくださいね。お待ちしております。



この方に聞きました！

福岡 梓さん
舞斬 チーム代表



応援課だより

— 地域がつながる、盛り上がる活動を応援 —

ボランティア活動 地域発の活動に、企業が協力！

自分の住む地域活動への参加は最近増えています。遠方でのボランティアも近年では盛んに。美和台校区では社会福祉協議会が中心となって参加者を募り、豪雨があった朝倉や、熊本の西原村など災害復旧のためのボランティアに出かけています。毎月数回ペースで既に60回を超えたというこの取り組みに、地域の企業さん(株式会社ベルコ)がバスを提供し協力をするなど、活動や支援の輪が広がっています。地

域が地域を助ける、その取り組みから目が離せませんね。



美和台校区自治協議会の活動

美和台校区の活動予定は自治協議会の情報誌「美和台通信」に毎月掲載しています。



ご相談やお問合せはコチラまで

☎ 092-608-8480

✉ support@wajiro.info



▲ 災害復旧のためのボランティアの様子